

かるまい

議会だより

No. 244

令和8年1月28日発行

主な内容

- 12月定例会の概要 2
- 12月定例会 一般質問に7人登壇 7
- イサビコー かるまい町に住んでみて 16

今回の表紙には イルミネーション

11月23日から1月18日まで軽米町防災センターを会場に「かるまい冬灯のillumination2025」が開催されました。さまざまな色の光が創りだす非日常的な光景は、軽米町の夜を照らし、たくさんの方の見物客の心を癒していました。

農地等の災害復旧費3千万円を専決

こども誰でも通園制度を新たに創設



豪雨の影響で崩落した農地法面

12月定例会（第19回定例会）は12月1日から10日までの会期で開かれました。4日と5日は、一般質問が行われ、7人の議員が登壇（質問内容などは7ページから14ページまで）しました。

農地等の災害復旧費に関する一般会計補正予算の専決処分の承認のほか、こども誰でも通園制度に関する新条例の制定、選挙における選挙運動の公費負担改正や林野火災注意報などに対応する火入れ等の条例の一部改正9件、給与改定等を含む一般・特別・事業会計補正予算8件など19議案を、全会一致で可決しました。

豪雨で法面崩れる被害

専決処分の内容は、10月31日から11月1日にかけて発生した豪雨による農地等の災害復旧費の補正予算です。下野場地区では、農地法面が崩落し、水路が埋そくする被害が発生しました。

この豪雨による農地や農業用施設等の被害復旧工事費などを含めて3051万円を追加補正しました。

Check!

専決処分とは？

町長が議会の議決を待たずに、条例や予算の変更などを決定することで、緊急の場合や議会を招集する時間がない場合に行います。

迅速な対応が求められる状況で活用され、災害時の緊急予算などで行われます。

謹賀新年



令和8年の年頭に当たり、軽米町議会を代表して、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、一般質問の時間制限の導入、次期改選時から議員定数の2減の10人とし発議案可決、議会として大きな改革をなしました。また、議員報酬の大幅引き上げも要望し議会改革調査特別委員会を閉じました。引き続き議会改革は継続的に取り組みで参ります。

人口減少・少子化対策調査特別委員会におきまして、議会の総意で政策提言して参りました、若者世代の定住促進住宅の整備については、やっと予算化され今年には形が見えて来ます。来年度は国内交流事業の一環として、宮城県在住軽米人会の発足も決まりました。子どもの遊び場の整備については、依然として先が見えて来ないのが現状であります。

今後も各種委員会の活性化を図り、議会の総意で政策提言を続けて参りますので、議会の傍聴にお出かけ頂きたいと思います。引き続き町民の皆様方のご支援をお願いいたします。

本年が皆様方にとりまして、輝かしい一年となりますようお祈り申し上げます。

軽米町議会議長 松浦 満雄

新条例「こども誰でも通園制度」

「すべての子育て家庭を応援」

乳児等通園支援事業、通称「こども誰でも通園制度」に関わる新たな条例は、国の「こども未来戦略」に基づいて制定されました。

この制度は、すべての子育て家庭を応援するもので、就労要件を問わずに時間単位で柔軟に保育園の利用ができます。利用対象者は、保育園に通っていない0歳6か月から満3歳未満の子ども。月10時間の範囲内で、時間単位での利用が可能です。利用する場合に、利用登録申請と事前予約が必要です。保育施設と保護者が利用前の面談を行い、予約すれば利用が可能となります。



保育園行事の様子（クリスマス会）

選挙ポスター費等を改正

町議会議員及び町長選挙の選挙運動用のビラ、ポスターを作成する場合の公費負担額が改正されました。

選挙運動用ビラ1枚 当たりの作成単価は7円73銭から8円38銭に。ポスター1枚当たりの作成単価は541円31銭から586円88銭へ改正されました。

日本全国各地で多発

林野火災を未然に防止するために



火入れの指導や広報活動の強化など林野火災を起こさない取り組みが大切です

火入れに関する条例の一部改正は、林野火災注意報や林野火災警報が発令された場合は火入れを行ってはならないという改正です。

令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受けて、林野火災を未然に防止するために火入れの条例改正を行ったのもです。

火入れの許可の期間中でも、林野火災注意報や林野火災警報が発令された場合には、火入れを行うことはできません。また、火入れ中であっても注意報や警報が発令された場合は速やかに消火しなければなりません。

一般会計補正予算（第5号）

福祉灯油、障がい者支援等 9,687万円を追加

福祉灯油とは、原油価格高騰等の影響を受ける低所得者世帯などの生活に困窮している世帯に対して灯油購入費の一部を給付するものです。

給付対象者は、令和7年12月1日現在で、町内に住所があり、世帯全員が町民税非課税であり、かつ次の項目に該当する世帯です。

- ① 高齢者（昭和36年4月1日以前に生まれた方）だけで構成されている世帯。
- ② 障がい者（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等を所持している方）が同居している世帯。
- ③ 特別児童扶養手当を受給している世帯。
- ④ 障害者基礎年金を受給している方が同居している世帯。
- ⑤ 要介護4または5の認定を受けている方が同居している世帯。
- ⑥ ひとり親世帯（18歳に達する日以降の最初の3月31日までの子どもを扶養している世帯）。
- ⑦ 生活保護を受けている世帯。

給付額は、1世帯あたり8000円（世帯主に口座振込で給付します）申請方法は、役場健康福祉課・福祉担当に、本人確認ができる書類（マイナンバーカード等）と振込先の通帳またはカードを持参して手続きを行います。

令和7年度一般会計補正予算（第5号）は、福祉灯油や障がい者支援など、9,687万円を追加し、総額75億785万円とするものです。

主な歳出は、福祉灯油の給付に906万円、一般県道二戸軽米線の道路改良に伴う伝送路移転業務委託料291万円、障害者総合支援法給付費4210万円、障害児通所給付費730万円、児童クラブ運営に關し長期休校中対応のための人件費256万円、こころの相談医師派遣費22万円などです。

民間との較差踏まえ

給料表全体の引上げ

県人事委員会の勧告を受け、町職員の一般行政職の給料表の見直しが行われました。民間給与との較差を踏まえ、給料表全体を引き上げました。若年層に重点をおきつつ、中堅層以上の職員も昨年を上回り引き上げます。

初任給を大学卒業程度で月額1万2300円、高校卒業程度で月額1万2000円引上げ、高卒10年目で月額75億2821万円となります。

給料表等の改正による一般会計補正予算（第6号）は、2036万円を増額し、総額75億2821万円となります。

ぎかいの視点

魅力ある職場づくりに

県内町村の一般行政職員の平均給与月額（左表）を比較してみると軽米町は、町の部では最下位の順位である。

職員の給与が高いか、安いかは、それぞれ個人の受け止め方だろうが、最近の若年層の早期退職に影響してはいないか心配する。

魅力ある職場づくりのためにも、他町村との競争を勝ち抜くことが、職員のモチベーションアップにもつながることを期待したい。

岩手県内町村の平均給与月額の比較 （一般行政職の令和7年4月分）

| 順位 | 町村名 | 平均給与月額 |
|----|------|-----------|
| 1 | 岩泉町 | 395,078 円 |
| 2 | 平泉町 | 389,553 円 |
| 3 | 西和賀町 | 383,054 円 |
| 4 | 雫石町 | 371,295 円 |
| 5 | 一戸町 | 368,819 円 |
| 6 | 紫波町 | 366,836 円 |
| 7 | 矢巾町 | 363,116 円 |
| 8 | 金ヶ崎町 | 359,921 円 |
| 9 | 洋野町 | 359,348 円 |
| 10 | 住田町 | 358,880 円 |
| 11 | 岩手町 | 356,878 円 |
| 12 | 葛巻町 | 356,517 円 |
| 13 | 田野畑村 | 355,451 円 |
| 14 | 山田町 | 352,694 円 |
| 15 | 大槌町 | 351,367 円 |
| 16 | 普代村 | 344,159 円 |
| 17 | 軽米町 | 337,971 円 |
| 18 | 九戸村 | 333,161 円 |
| 19 | 野田村 | 330,529 円 |

※時間外勤務手当等を含む支給額

若手職員に聞いてみました！
Q. 今の給与に満足していますか？





一般質問

一般質問とは
・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
・質問者の順番は通告した順番で行われます
・時間の制限は 60 分です

町議会では、令和 6 年 12 月定例会から、これまでの一括質問一括答弁方式と、新たに一問一答方式を希望により選択できるよう試行導入しています。質問方式の違いについて紹介します。（制限時間はどちらも 60 分）

- 一括質問一括答弁方式 議員が質問をすべて一括して質問し、その後、町長らがその質問について一括して答弁を行います。質問回数は再々質問までです。
- 一問一答方式 一つの質問事項を質問した後、町長らがその質問事項について答弁を行い、その後次に次の項目を質問します。全ての質問を一問一答で行います。質問回数は無制限です。



- さわやかカップル祝金
- すこやかベビー祝金
- 耕作放棄の現状と政策

- 町の農業振興について



- 熊の出没について
- 高齢者福祉サービスの充実について

- かるまい文化交流センターに係る裁判の経過について
- 町の観光について



- 文化財保護について
- 農業政策について

- 誘致企業について
- 軽米高校への今後の支援



掲載されている質問・回答は要約されています。全文は町議会ホームページにて公開しておりますので、ご覧ください。

- 熊などの鳥獣対策
- 福祉灯油について
- 小中学生の就学費負担軽減について



＜ 1 2 月定例会 ＞

採決結果を紹介

| 番号等 | 案件内容 | 本会議の採決結果 |
|-----|--|--------------|
| 議案① | 令和 7 年度軽米町一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分に関し承認を求めることについて 〔3,051 万 4 千円を増額し、総額 74 億 1,097 万 9 千円〕 | 承認 （全員賛成） |
| 議案② | 軽米町議会議員及び軽米町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 〔公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、軽米町議会議員及び軽米町長の選挙における選挙運動の公費負担について所要の改正をしようとするもの〕 | |
| 議案③ | 軽米町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例 〔地方公共団体情報システムの標準化に伴い、住登外者宛名番号管理に係る事務が、個人番号の独自利用事務になることから、所要の改正をしようとするもの〕 | |
| 議案④ | 軽米町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 〔内閣府令による乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準が施行されたことに伴い、乳児等通園支援事業の基準を定めようとするもの〕 | |
| 議案⑤ | 軽米町火入れに関する条例の一部を改正する条例 〔気象庁が使用する基準等に合わせて、所要の改正をしようとするもの〕 | |
| 議案⑥ | 軽米町水道事業給付条例及び軽米町下水道条例の一部を改正する条例 〔災害その他非常の場合において、町長が認めるときには、他の市町村長の指定を受けた工事事業者が給水装置及び排水設備に関する工事を行うことができるよう、所要の改正をしようとするもの〕 | |
| 議案⑦ | 令和 7 年度軽米町一般会計補正予算（第 5 号） 〔9,687 万 2 千円を増額し、総額 75 億 785 万 1 千円〕 | |
| 議案⑧ | 令和 7 年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号） 〔4,603 万 6 千円を増額し、総額 10 億 7,423 万 5 千円〕 | |
| 議案⑨ | 令和 7 年度軽米町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 〔145 万 2 千円を増額し、総額 1 億 3,255 万 2 千円〕 | |
| 議案⑩ | 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 〔岩手県人事委員会の勧告に鑑み、所要の改正をしようとするもの〕 | |
| 議案⑪ | 特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 〔諸般の情勢に鑑み、特別職の職員の期末手当の支給割合を改正しようとするもの〕 | |
| 議案⑫ | 議会の議員の議員報酬及びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 〔諸般の情勢に鑑み、議会の議員の期末手当の支給割合を改正しようとするもの〕 | |
| 議案⑬ | 会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 〔諸般の情勢に鑑み、会計年度任用職員の宿日直手当に相当する報酬の支給限度額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改定しようとするもの〕 | |
| 議案⑭ | 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 〔高病原性鳥インフルエンザ等に対処するための作業に従事した職員に係る防疫作業手当に関する特例処置を講じようとするもの〕 | |
| 議案⑮ | 令和 7 年度軽米町一般会計補正予算（第 6 号） 〔2,035 万 5 千円を増額し、総額 75 億 2,820 万 6 千円〕 | |
| 議案⑯ | 令和 7 年度軽米町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号） 〔83 万 8 千円を増加し、総額 10 億 7,507 万 3 千円〕 | |
| 議案⑰ | 令和 7 年度軽米町介護保険特別会計補正予算（第 1 号） 〔12 万 6 千円を増加し、総額 1,127 万 4 千円〕 | |
| 議案⑱ | 令和 7 年度軽米町水道事業会計補正予算（第 3 号） 〔資本的支出を 40 万 8 千円増額し、総額 3 億 3,249 万 2 千円〕 | |
| 議案⑲ | 令和 7 年度軽米町下水道事業会計補正予算（第 3 号） 〔収益的収入を 45 万 9 千円増額し、総額 1 億 6,503 万円〕 〔収益的支出を 46 万円増額し、総額 1 億 6,693 万 5 千円〕 〔資本的収入を 12 万 1 千円減額し、総額 7,373 万 8 千円〕 〔資本的支出を 12 万 1 千円減額し、総額 8,674 万 1 千円〕 | |

可決
（全員賛成）



さわやかカップル祝金

問

届出時から1年以内に住所を有する者とするについて

町長

今後対象期間の緩和について検討

問 事情があり、すぐに住所を有することができない方のため、対象者を婚姻届出時から1年以内に夫婦ともに軽米町に住所を有する者とするについて伺う。

町長 近年は多様な働き方や職場の事情により、婚姻届出の時点では、夫婦の一方または双方が町外に住所を置かざるを得ないケースが増加していることも事実。軽米町への定住意向は非常に高いにもかかわらず、現行の要件により祝金の対象外となるカップルが生じ、制度の目的とする「結婚と定住の祝福・促進」という効果を十分に発揮できていない可能性についても認識している。今後対象期間の緩和等について検討していく。

耕作放棄の現状と政策

問

耕作放棄の現状と増やさないための政策は。

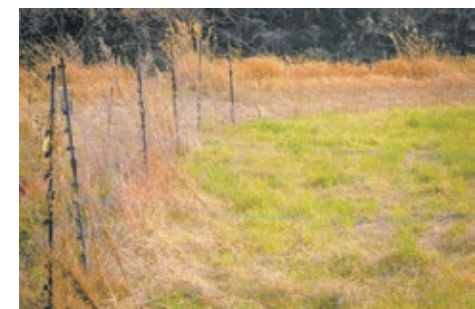
町長

毎年新たに耕作放棄地等が発生している状況

問

耕作放棄の現状は

町長 毎年新たに耕作放棄地または遊休農地が発生している状況。これまで、農地中間管理事業、地域の共同活動や営農活動を支援する中山間地域等直



耕作放棄地の増加は、害虫・鳥獣被害の増加にもつながるため早急な対策が求められます

すこやかベビー祝金

問

祝金増額の考えは

町長

国の施策や動向を踏まえ、支援の充実を優先

問

第1子祝金の増額をすることの考えはないのか。

町長

すこやかベビー祝金制度は平成3年に創設され、令和3年には金額の改定を行い、現在第1子3万円、第2子5万円、第3子10万円、第4子以上20万円の祝金をお贈りしているもの。国の事業では、令和5年より妊娠・出産時に10万円相当が支給される「子育て応援ギフト」制度が始まっており、当町でも対象となる方へご案内し、申請受付を実施している。祝金の増額については、国の子育て施策や動向を踏まえ、今後も安心して子育てができるよう、継続的かつ多角的な子育て支援の充実を優先していく。



町の農業振興

問

遊休農地の現状と今後の取り組みは

町長

農地パトロール等の現地調査を実施し引き継ぐための取り組みを進める



遊休農地とは、昔は田畑だったが、今は使われておらず、今後も使う予定のない農地のことです

問 タープランなどの遊休農地対策で遊休農地の現状と今後の町の取り組みを伺う。

町長 遊休農地の現状は、毎年行っている利用状況調査において新たに発生した遊休農地面積は、令和4年約34ヘクタール、令和5年約43ヘクタール、令和6年約15ヘクタールとなっている。耕作を続けることが難しくなった農地を農地中間管理機構が借り受け、認定農業者等の担い手に貸し付ける農地中間管理事業を進める。

問 新規就農者支援事業や軽米町親元就農給付金事業などの担い手の育成・確保の成果と課題、今後の取り組みを伺う。

町長 軽米町親元就農給付金事業では9名が補助金の交付を受け8名が定着している。町では担い手育成・確保の更なる取組を進めるため、スマート農業などの新たな取り組み



この組合を設立することで、業者側は人材不足解消、移住者・組合員側は安定雇用とキャリア形成、地域全体としては移住者促進と担い手確保による活性化に繋がります

特定地域づくり事業協同組合制度の詳細については、それぞれ下記のQRコードからご確認ください

総務省

岩手県

問 担い手育成と人材不足対策として特定地域づくり事業協同組合を作ること、農業支援にもなり町の移住と若者の定住につながると思うが、現状と今後の取り組みを伺う。

町長 特定地域づくり事業協同組合の勉強会へ出席し制度の内容や事例について情報収集するとともに、他市町村の取り組み状況などの意見交換をした。また、町内事業者を対象とした勉強会を開催し、理解を深めた。今後も制度の活用を検討している事業者に対し組合の設立、組合運営に係る財政支援等も含めて対応するとともに、県内外の事例研究、情報収集に努める。



熊の出没について

問 熊被害防止の取り組みは

町長

防災行政無線による緊急放送や軽米町公式LINEでの情報発信・周知

【町長】熊の出没情報は11月21日時点で30件寄せられた。対応や対策は、熊の出没情報があった場所が農地や宅地、住宅密集地で人的被害の危険性が高い場所は速やかに防災行政無線で注意喚起を行い、教育機関、保育施設、二戸警察署、消防署、保健福祉環境セン

問 熊の出没情報に寄せられた時の対応や対策は。

【町長】熊被害防止の取り組みは。防災無線による緊急放送や軽米町公式LINE（ライン）で被害防止に向けた情報を発信し周知している。また、農作物等の被害相談には現地確認を実施し、農作物などの収穫残渣の処理や藪の刈り払い等の指導を徹底している。



ゴミの管理徹底、庭木の剪定で隠れる場所をなくすなど、各家庭での熊を寄せ付けない工夫が大切です

ターに連絡し情報を共有している。また、軽米町猟友会と連携して、現地確認を行い状況により「追い払い」や「わなの設置」を実施している。わなを設置した際は付近にセンサーカメラを設置し、熊の出没頻度やわなの設置場所が妥当であるかなど見回りは毎日行っている。熊がわなにかかった際には、迅速に対応できる体制を整えている。今後も、実施事例や研究成果等を取り入れ、実効性のあるマニュアルとなるよう努める。

高齢者福祉サービスの充実

問 地域の通いの場まで移動することや外出することが困難な高齢者にどのような関わりをしていくのか。

【町長】高齢になって地域の通いの場まで歩いていくことが大変だ等の声があり、個人的に通いの場まで送迎している方からは方が一事故などにあつた場合の対応が心配だという声がある。町としても更なる通いの場の充実と拡充を図るため、通いの場までの移動や送迎で困っている人を支援する互助・共助の取組を進めることをテ

問 移動困難な高齢者への支援は

町長 移動支援、外出支援について勉強会や視察研修を実施している

問 地域で移動することや外出することが困難な高齢者にどのような関わりをしていくのか。

【町長】移動支援、外出支援について勉強会や視察研修を実施している。今後も通いの場の活動について、実態把握を行い、すでに送迎を実施している、また、実施しようとしている住民の方々と連携、協議を行いながら地域の主体的な取り組みを支援していく。



高齢者の移動支援は、単なる移動手段の提供だけでなく、介護予防や生きがいづくりにも繋がります



観光施設のにぎわいづくり

問 観光施設のトイレ改修を

町長

雪谷川ダムフォリストパーク・軽米のトイレを新年度予算で



雪谷川ダムフォリストパーク・軽米では、春になると約15万本のチューリップが咲き、多くの観光客でにぎわいます

【町長】雪谷川ダムフォリストパーク・軽米の森と水とチューリップフェスティバル期間中の来場者数は1万9288人、うちチューリップ園への入園者数は1万4031人と昨年より少なかったが、4月、5月の入込数合計では2万人を超える来場者だった。チューリップ園に代わる観光資源が乏しいた

問 観光協会を法人化し、施設活用イベントの充実を図ってどうか。

【町長】両施設ともオープンから30年以上経過しており、特に雪谷川ダムフォリストパーク・軽米のトイレは早急な改修が必要と考え、新年度予算に盛り込む方向で検討している。

問 両施設とも老朽化しているが、特にトイレの改修に力を入れるべきと思うが、いかがか。

【町長】イベント開催はないが、入込数としては、月平均600人前後と横ばい。宿泊者数は増加している。ミレットパークでのイベント開催はないが、入込数としては、月平均600人前後と横ばい。宿泊者数は増加している。

損害賠償訴訟の経過

問 3年経過の裁判の状況は

町長 1月に岩手県が反論を行う

【町長】他市町村の実態等を調査し、時間をかけ見極める必要があると考える。観光協会の独立を否定するものではない。町に合った形での施設の活用、イベントの充実が図られる体制づくりを今後慎重に検討していく。

【町長】1月に岩手県が反論を行う

【町長】原告と被告双方が裁判所の考え等に対する意見を付した準備書面等を提出し、令和8年1月22日に、被告岩手県が和解に係る裁判所の考え方に対する当方の準備書面への反論を行う予定である。

長期化により弁護士費用の負担は増えるが、訴訟結果を町民から理解してもらうためにも、安易な妥協ではなく、主張すべき点はしっかりと示しながら、裁判所の判断を求めていくことが重要である。

【町長】令和7年5月に和解に向けた裁判所の考え方の説明と和解金額の査定に必要な立証を補充するよう指示を受けている。

その後、7月、10月



文化財保護について

問 修理、修繕等の依頼現状は

教育長

岩手県文化財保護審議委員の派遣を依頼し、現地での調査を行うことで調整

【教育長】文化財として指定後は、所有者に対し、助言や指導を行い、現状を変更する場合には、教育委員会の許可を要することとしている。さらに管理や修理に要する費用の一

【問】軽米町文化財保護のためにどのような検討がされてきたのか。

【教育長】岩手県指定有形文化財として木造薬師如来坐像と木造脇侍菩薩立像がある。軽米町指定文化財としては、木造二天王像が2体、木造十二神将像が9体。また、徳楽寺の薬師堂とその堂内に安置されている絵馬18点も軽米町有形民俗文化財として指定されている。

【問】軽米町文化財保護のためにどのような検討がされてきたのか。

【教育長】令和6年8月に岩手県有形文化財に指定されている薬師如来坐像等の修理にかかる要望があり、内部で検討を進め、現在岩手県に対し修理に係る補助金を令和8年度内に受けるため、申請手続きを進めている。県指定文化財の現状変更を行うには岩手県教育委員会の許可が必要となることから、岩手県文化財保護審議委員の派遣を依頼している。12月または、来年1月に現地での調査を行うことで調整している。

農業政策について

【問】軽米町の基幹産業と言われる農業を持続・振興させていくための地域計画を伺う。

【町長】現在、営農していると回答した方のうち、今後農業を継続・拡大する意向の農地所有者は約6割。約4割の農地所有者が規模縮小、あるいは農業を辞めたいとの意向で、そのほとんどの方が、将来の農地利用が未定。



農業の持続・振興には、担い手の確保・育成、そして地域全体で農業を支える体制の構築が重要です。

【町長】令和6年5月に農地所有者に対して行った「将来の農業経営の意向」「将来の農地利用の意向」のアンケート結果について伺う。



誘致企業について

問 (株)フレッシュチキン軽米の現況は

町長

企業では従業員と個別面談を実施

【町長】工場を閉鎖し解散する理由としては、昭和54年の工場稼働からすでに45年以上が経過し、建屋及び施設設備の老朽化が進み、その更新の費用が高額であることから、今後、事業を継続することが難しいとの説明を受けている。企業では従業員と個別面談を実施。地元にある別の企業に就職を希望するか、グループ会社への残留を希望するか、別の業態を希望するかなど聞き取り、希望に添えるよう会社が責任を持って対応し、工場閉鎖までの令和8年3月31日までは、給料を保



誘致企業とは、地方自治体や国が地域経済の活性化、雇用創出などを目的に本社や工場などを「誘い寄せて進出させた企業」のことです。

証すると伺っている。町としても雇用関係等の相談窓口を庁舎1階と軽米町商工会に設置するとともに、ハローワークなどの関係機関等とも連携しながら各種相談に対応していく。

軽米高校への今後の支援

【町長】若者が地元で定住するためにも雇用の場が必要。今後、中・長期的な取り組みとしてどのような支援を考えたのか。

【町長】さまざまな働き方に対応した若者が望むような企業や、町の特性を生かせる農業、地元企業にも経済効果が波及するような企業などを意識して、新たな企業誘致に努める。



おめでとうございます

旭日双光章

松浦求さん（前町議会議員）が、令和7年秋の叙勲で「旭日双光章」を受章されました。松浦さんは、町議会議員を8期（32年間）、うち平成23年5月から2期8年間、町議会議員を務められました。

12月12日には、軽米町役場町長室にて叙勲伝達式が行われ、町長より勲記と勲章が贈られました。

町議会からは、松浦満雄議長より花束が手渡されました。



産業建設常任委員会の活動報告

しりうち地域づくり協同組合の取組を視察



事務局、担当課との集合写真

産業建設常任委員会（上山誠委員長）は11月18日北海道知内町の特定地域づくり事業協同組合を視察しました。知内町では、人材雇用等の地域の課題を解決するため、2024年4月「しりうち地域づくり協同組合」を設立し、地域の担い手を育成しながら、持続可能な地域づくりを行っています。

一体となった取り組み
細谷地多門副委員長
組合の設立までの経緯、現状、課題等資料を基に説明を伺った。道内一の生産量を誇るニラ。ほぼ通年で作業があり、人口農業者が減っているものの生産額は増えている。農業者から町内で労働力が確保できないと等の声があり、マルチワーカー派遣の事業を役場、JA一体となって取り組んでいる状況を学んできた。

順調な組合運営
上山誠委員長
知内町はニラの産地で22組合員と6名の従業員で運営していた。組合事務局員として地域おこし協力隊を派遣、JAの出荷調整施設を利用した順調な組合運営をしているようだった。またアプリでのワーカーのスケジュール管理をするなど常に問題点を解決しながらの組合運営をしていて今後の取り組みの参考になった。

安定的な運営
松浦満雄委員
JA共撰所の仕事をメインに、冬期間は除雪作業を請け負うなど作業の平準化を図り、ラインワークスアプリを利用したシフト等の管理を実施していた。町からの補助金9,377千円や、地域おこし協力隊の派遣を受け、安定した経営を行っている。メインとなる仕事がなければ安定的な運営が成り立たないと感じた。

職員の熱意、素晴らしい
中村正志委員
つなぐ、育てる、支えあう。地域を「ひとつ」の職場に。
ニラの生産量が北海道一の知内町。しかし、労働力不足、厳しい通年雇用、募集しても人が集まらないなど、課題山積。課題解決に向け役場が立ち上がった。職員の熱意が組合を誕生させ、軌道に乗せた。素晴らしいの一言に尽きる。

自然エネルギーを活用した栽培
甲斐鉦康委員
北海道知内町は、ハウス栽培でニラなどを一年中育て、収穫・出荷していた。温度管理等は必要だが、太陽光発電などの自然エネルギーを活用し、軽米町でもワラビ、うるい、アスパラガス、ミョウガなど苗から育てられる野菜等の栽培ができればいいと感じた。

一般質問



えさしか しずこ
江刺家 静子

就学費負担

問 小中学生の就学費負担軽減

教育長 学校就学費負担は少ない

問 中学生の制服代や修学旅行費用等の就学費の負担軽減を。
【教育長】 学校教育費の全国平均は、公立小学校8万1753円、中学校15万747円であり、決して少ない金額であると理解している。中学生制服代については生徒間、男女間で購入金額の差異が大きく補助の平等性確保が難しい。また、財源の裏づけも必要であり早急の実施は難しい。修学旅行負担軽減については就学援助費制度などとの整合性や学校ごとの金額の差異の分析も必要であると考えている。

問 中学生制服や、小学生の運動着はいくらか。
【教育長】 中学生男子制服（学生服とスポン）合計3万9550円、女子制服（夏用セーラー服半袖・長袖、冬用セーラー服、スカート）合計5万2250円。小学生運動着、低学年1万8720円、高学年2万1380円。

問 就学費の負担軽減のため入学祝金制度を創設してはどうか。
【町長】 子育てはお金がかかると思っている。医療費・給食費・保育料に続き、これからも子育て政策を拡充していきたい。

磐石町では、子育て応援入学祝金を支給する取り組みを行っています

物価高騰対策

問 福祉灯油について
【町長】 対象世帯に8千円の支給を検討

問 熊の出没状況
【町長】 熊の出没状況は11月21日時点で30件。不要な果樹伐採、空き家対策・草刈経費援助については現状を把握する必要がある。近隣市町村の現状を調査しながら検討したい。森林環境税の活用は制度の趣旨から精査が必要である。

問 町民の不安に答える
熊などへの対策は
【町長】 猟友会と連携し見回り、わな設置等

問 没状況。不要な果樹の伐採や空き家の草刈りを町で援助できないか。県に河川敷刈り払いを要望すること、森林環境税を活用して集落周辺の刈払いできないか。
【町長】 熊の出没状況は11月21日時点で30件。不要な果樹伐採、空き家対策・草刈経費援助については現状を把握する必要がある。近隣市町村の現状を調査しながら検討したい。森林環境税の活用は制度の趣旨から精査が必要である。

問 昨年よりも支給世帯に8千円の支給を検討している。物価高騰の影響を受けた町民に対しては、重点支援交付金の活用を含め支援方法についても検討したい。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ④1

おかべ ゆうこ
岡部 裕子 さん
埼玉県草加市出身 (沢里・50代)
地域おこし協力隊



再エネがきっかけ

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？

埼玉の会社で働いていて、ちやうど転職しようかどうか考えていた時に、たまたま前にお世話になった再エネの会社の社長さんから、軽米の仕事の話を聞いたのがきっかけです。

人とのつながり

☞ 他の市町村と比べて軽米町のほうが良いと思うところは？

軽米では、人と人、そして地域との結びつきを強く感じます。それは、町の皆さんが、日ごろから地域や人とのつながりを大切にしている、そんな土壌があるからだと思います。人は一人で生きているわけではなく、多くの方に支えられているという当たり前のことを、軽米での生活の中で改めて実感しています。都会は人があふれていますが、自分にとっても相手にとっても「代わりの人」がいくらでも

いる中で、人間関係のよろさや不安を感じることは少なくありませんでした。移住してきた身ではありますが、軽米のコミュニティの中に身をおいていると、都会では得られなかった安心感を感じます。

☞ 他の市町村が良いと思うところは？

プレゼントなど特別な買い物をしたときは、他の市町村で、大きな商業施設があるところは便利だいいなと思います。

貴重なスキルを将来に

☞ 軽米町に望むことは？

町の産業を支えている方、伝統芸能、手仕事など、貴重で高いスキルを持っている方がたくさんいらっしゃるのだから、それらをぜひ将来にわたって受け継いでいってほしいと思います。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

かるまい
議会だより

発行日 令和8年1月28日発行 (No. 244)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 満雄
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <https://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長 中村 田
副委員長 村中 斐
委員 田上 山
委員 茶

志 正 志
せ せ
祐 祐
典 典
康 康
誠 誠
隆 隆

軽米町議会だよりは
こちらから

